

大学、公共団体、一般企業、に広がる
非正規労働者を○年で一律にくびにする
ルール。私大では90年代から、国立
大では2004年の法人化以後導入されま
した。人を育てる大学でひどい使い捨て
が行われているのです。

おかしい！

3月末の雇い止め許さない！

大学をこえて集会を開きます。

大学も非正規化が進み、職員では半数以上が非
正規(うち8割以上が女性)です。

プログラム (1時~4時)

■基調講演 脇田滋さん

非正規労働者の権利実現全国会議
龍谷大学/労働法

25年一貫して非正規労働問題を告発してきた
脇田滋先生。私たちの気持ちを理解し、ゆく
べき理念を指し示すのは、やはり脇田さんだ
と思ひ、お呼びします。

■現場からの報告

3月31日の雇い止めを止めようと、京大で、
阪大で、京都精華大で、関学で、龍谷で、…
当事者たちがたちあがり、さまざまな闘いが
行なわれています。(裏面参照)

呼びかけ団体

- 京都大学時間雇用職員組合 ユニオンエクスタシー
- 関西単一労働組合 大阪大学分会
- 関西非正規等労働組合 ユニオンぼちぼち
- 京都精華大学嘱託教職員組合 SocoSoco
- 大学をどうするか！共に考える全学大討議会実行委
員会 (大阪大学)
- 関西圏大学非常勤講師組合
- アルバイト・派遣・パート関西労働組合

2.27 実行委員会
nandenan0227@gmail.com

ブログ
<http://nandenan0227.blogspot.com/>

5年でくび

3年でくび

4年でくび

大学非正規労働者の雇い止めを許さない関西緊急集会

なんで有期雇用なん!?

賛同団体・賛同者

メッセージもたくさん
いただいています。

「当たり前」とされている待遇につ
いて、疑問に思っているのだ、時には声
を上げていいのだとこころづいていく
ことが私にとっての「活動」です。
した。心より賛同させていただきます。
栗田隆子 (女性と貧困ネットワーク)

大学はプレカリアート養成所なのか？
学生も非常勤職員も非常勤講師も、あ
らゆる人々が不安定さに晒されている。
しかしここに、声を上げた人々が集っ
たことを私は本当に嬉しく思う。
雨宮処凛 (作家/ユニオン・エクスタ
シー組合員)

恒常的な仕事に「有期」は許さん！
でも、この問題は1960年代からある
女性労働問題です。
屋嘉比ふみ子 (ベイ・エキティ・
コンサルティング・オフィス)

日本は有期雇用の規制が弱すぎ、それ
が派遣法改正論議にも影を落としてい
ます。

「期間の定めなき雇用」との原則を、
制度的・政策的に確立すべきと思います。
湯浅誠 (反貧困ネットワーク)

このような使い捨ては許されません。
吉岡力 (松下PDP事件原告)

均等待遇アクション21京都、
ユニオンWAN、東海圏大学非
常勤講師組合、館長雇止め・
バックスラッシュ裁判を支援
する会、関西外国語大学21
世紀教職員組合、女性と政
治キヤンペイトーク、広島、女性
と貧困ネットワーク、荒川
区職員労働組合、ベイ・エ
クティ・コンサルティング、
オフィス、国鉄の臨時雇用
員和田さんの解雇を撤回さ
せる会、全関東単一労働組
合(有隣館分会)、ふえみん
婦人民主クラブ、労働者女
性解放集会実行委員会、関
西単一労働組合(兵庫県立
こども病院分会、教学研究
社分会、東川乳業分会、三永
電機製作所分会)、和歌山大
学教職員組合、新聞労連京
都新聞労働組合、連帯労働
者組合・杉並
栗田隆子、中村和雄、岡田夫
佐子、池田浩士、伊藤敦子、
梶原大輔、永嶋清久、和田弘子、
駒込武、大久保祐哉、笠井弘子、
木村涼子、カッセコール・
美鈴、カッセコール・カール、
関根隆晃、三井マリ子、塩見
卓也、中山美紀、橋野高明、
稲谷恭子、梶原大輔、久保田眞
山、山口静子、貴戸理恵、滝澤寛
本橋哲也、菊地夏野、岡山一
松本麻里、浜島恭子、岡晃子、
澁谷知美、さとうしゅういち、
遠藤礼子、うきぎ、まつぎ、
編飼哲、大塚奈穂子、遠山日
出也、ふじみつこ、内海博文、
鈴木水南子、木村理恵、白崎
朝子、内藤進夫、中島光孝、
鄭光珠、山本柚、中村研、吉
岡力、小沢修司、永嶋里枝、
松田素二、小関隆、森理恵、
田邊玲子、木村穂、服部一
岡田夫佐子、梶原大輔、終元
美紀、松村素子、白川せつ子、
宇都宮健児、雨宮処凛、廣瀬純
西山雄二、立木康介、竹中尚史、
松岡隆浩、京雅物、中村優子、
森内孝一、湯浅誠、河添誠、
宇多滋樹、稲庭篤、村田泰子、
舟木浩、山岡あきこ、ホソノ
シユータロー、川野純治、大
村一浩、片岡とも子、橋本博子、
林田力、村津美千子、但馬け
いこ、岡田健一郎、館山真太郎、
水村和子 (敬称略)

なんで仕事があるのにクビなん？
非正規をなめんよ！

引継ぎ引継ぎ引継ぎばかり
なめたらあかんで！女の労働
ひどい使い捨て、働くのがばかしくなってくる
なんでなん？

選んで、非正規やってるんちゃうわ。
やっとなんか面白くなってきたのに

婚活よりストライキ！



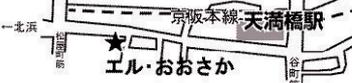
一律、○年でくびは、

2月27日(土)

1時~4時

エルおおさか 7階 708

天満橋駅(京阪・谷町線)から北浜方面 大川
06-6942-0001
大阪市中央区
北浜東3-14



おかしい！

イラスト:mizoro 意匠

集会呼びかけ文

大学、官公庁、一般企業の間で、更新の年限を定めた有期雇用が広がっています。

恒常的な業務であるにもかかわらず、数年で一律に雇い止めとなる有期雇用、私立大学ではいぶん前から導入され、既に常態化していますが、国立大学でも2004年の法人化以降、各大学で有期雇用が導入されてきました。京都大学では5年。大阪大学では6年*。今年3月、全国の国公立大学、私立大学で大量の解雇が実施されます。

現在、大学で働く非正規労働者の多くは女性です。大学に限らず、非正規労働の根底には女性労働の搾取の問題があります。主婦のパート仕事として位置づけられ、夫に扶養されることを前提にしているため待遇は改善されず、それが今では20代・30代の女性・男性がおかれる当たり前の労働環境になりつつあります。

数年ごとに雇い止めを行い、人だけ入れ替えるのは単に「首のすげかえ」であり、反復更新を繰り返すことにより、更新期待権が生じないようにするための方法です。しかし、多くの非正規労働者は「有期雇用であることを知って契約にサインしたのだから、雇い止めになっても仕方ない。」と諦めます。けれども、私達は声を上げます！

「なんで有期雇用なん！？そもそも、有期雇用自体がおかしいんちゃう！？」

有期雇用は「人を育てない・育てる気がない」、人々の働く力を貧困化させていくシステムだと考えます。

更新や雇い止めの不安に怯えながら働くのではなく、腰を据えじっくりとその仕事に携わりたい！

同じ仕事をしているのであれば、正規労働者と同一の賃金・待遇を！

その思いを抱えた関西の国公立・私立大学の非正規労働者たちが大学を超えて集まり、今年3月末に各大学で行われる雇い止めを実行させないため、緊急集会を開くことになりました。

有期雇用に疑問と不安を抱きつつも、声を上げられない非正規労働者の方々に「共に声を上げよう！」と呼びかけ、有期雇用の問題性を明らかにし、抜本的な解決策を皆さんと共に考える場にしたいと考えています。

* 阪大は法人化以前からの長期非常勤職員も今後5年で雇い止めにする旨を発表しました（一部を特例職員として登用）

大阪大学より

阪大・Sさん闘いに立ち上がる！◆
阪大は法人化後採用の短期非常勤職員の雇用期間を最長6年としながら、実態は早期に雇い止めしている。その一人のSさんはこの3月末解雇宣告されたが、継続雇用を勝ち取るため組合に加入。Sさんは自らにおこなわれたパワハラに抗議し闘いを開始した◆阪大は法人化前からの長期非常勤職員には5年後雇い止めを決定。正規職（特例職員）への転換試験に合格したもののだけが生き残れるというサバイバルゲームに追い込んでいく◆阪大の非常勤使い捨てを許さず闘うぞ！（関単労阪大分会）

龍谷大学より

2007年、3年契約で1回更新可、人事責任者からは「とくに問題がなければ更新される」という話で採用された。2009年6月、理由も明示されないまま、一方的に今年度いっぱい雇い止めを言い渡された。これに対して教職員組合を通じ、撤回を求めて説明会と団交を3回行ってきた。しかし大学側は理由を2転3転させつつ、態度を変えていない。最終的には裁判も視野に入れつつ、2月の大衆団交に望む予定である。（経済学部助手Sさん）

立命館大学で非常勤講師 使い捨てに反対して ハンストを行った 遠藤礼子さんより

有期雇用更新回数上限を定めることには、あらゆる意味で何のメリットもない。「合理的理由なく雇い止めに出来なくなると困るから」というが「合理的理由があれば雇い止めに出来る」のにどうして困る必要があるのか。

しかし、こんな単純な理屈が彼らには通用しない。私たちは、今こそ、「有期雇用更新回数上限を定めること」に本来内在するデメリット＝「雇用が細切れになって安心して働けない」「まじめに働こうという気なくなる」「労働者を入れ替えるたびに、教育に時間がかかる＝利用者が迷惑する」等々の上に、『抗議の声がうるさい！！！！』という、大きなデメリットをのせることで、勝利できると確信します。共に闘いましょう！

関西学院大学より

「障がい学生支援に熱心な大学」として全国的にも知名度の高い関西学院大学。それを支える障害学生支援コーディネーター2名は4年間の有期雇用。2010年3月末の雇い止めはもう目の前に！支援に携わる者達の雇用環境が不安定であれば、その歪みは学生達に直結する。団交打ち切り、新規コーディネーターの公募・採用と数々の不当労働行為を受けながらも、現在も継続雇用を求めて団交中！

継続雇用を勝ち取り、有期雇用で働く全国の障害学生支援コーディネーターの雇用環境を変える呼び水にしたい。（大橋裕子）

京都精華大学より

精華ではチューターをはじめ多くの嘱託教職員が、学生と密接に関わったり、大学を支える大切な仕事をしている。なのに、更新回数の上限がきたら問答無用でお払い箱。主体的に働く人ほど任期中は就活もできず、解雇後の生活も保障されない。SocoSocoはそんな悪循環をなんとかすべく、週末に建てた小屋で昼休にストしたりと、働きながらもそこそこ活動中。1月の団交で、更新切れになる嘱託助手が同じポストに再応募する権利を勝ち取った。今後は学内の非正規の問題に広く取り組みたい。（京都精華大学嘱託教職員組合SocoSoco）

京都大学より

京都大学が非常勤職員5年でくびを本当に実施するとの報に対し、去年2月当組合員、小川と井上は時計台前広場に座り込み、ストライキに突入。3月、小川・井上、契約更新されず（4年目でくび）。4月、座り込みの場を生活と交流のためのくびくびカフェに改装。大学との訴訟合戦になる。今年に入り、大学は一部再雇用を認める5年条項改正案を発表。現在、団体交渉・直接行動（カフェ営業）等を通じて完全撤廃を求め闘争中。（京都大学時間雇用職員組合ユニオンエクスタシー）